

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 株式会社クロスキャット 上場取引所 東
 コード番号 2307 URL <https://www.xcat.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）山根 光則
 問合せ先責任者（役職名）取締役常務執行役員（氏名）山下 智己（TEL）03-3474-5251
 コーポレート統括部担当
 半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無（動画配信のみ）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	8,223	2.3	881	1.8	914	1.7	665	14.1
2025年3月期中間期	8,040	12.3	865	29.2	898	26.7	583	23.2

（注）包括利益 2026年3月期中間期 736百万円（ 17.3％） 2025年3月期中間期 628百万円（ 9.5％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	47.47	—
2025年3月期中間期	41.18	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	9,258	6,011	64.9
2025年3月期	10,526	5,853	55.6

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 6,011百万円 2025年3月期 5,853百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	34.00	34.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	17,100	5.6	1,930	5.1	1,990	4.8	1,350	2.5	95.71

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	17,005,674株	2025年3月期	17,005,674株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	3,009,574株	2025年3月期	2,900,874株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	14,014,239株	2025年3月期中間期	14,160,057株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当中間期連結累計期間（2025年4月～2025年9月）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の高まりなどを背景に緩やかな回復基調が続いている一方、米国の通商政策による景気の下振れリスクや物価上昇の継続、地政学リスクなど、景気の先行きは引き続き不透明な状況にあります。

当社グループが属する情報サービス産業を取り巻く環境は、IT人材の不足等の供給面に課題を残しつつも、クラウド、生成AIなどをはじめとする先端IT技術を活用したDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進など、社会課題解決に向けたIT投資が引き続き堅調に推移していくと考えております。

このような事業環境下、当社グループは、中長期的な経営方針である経営ビジョンを「独立系情報サービス企業として、持続的な企業価値向上と社会への貢献」と定め、この経営ビジョンのもと、2024年4月よりスタートした新中期経営計画「Growing Value 2026」が2年目を迎えました。新中期経営計画では、当社の強みを明確化し、提供価値である品質・効率性・専門性・ノウハウを組み合わせたサービスの質を高め、カスタマーサクセスへの貢献を目指すことを基本方針とし、この基本方針に基づいた「価値提供モデルへの転換」、「アセットベースビジネスの拡大」、「顧客基盤の強化」、「人材・組織力の強化」、「各社の強みや特徴を活かしたグループ経営の展開」を5つの基本戦略に掲げ、新中期経営計画の目標達成に向け、基本戦略ごとの取り組みを推進しております。

これらの結果、当中間期連結累計期間の売上高は8,223百万円（前年同期比2.3%増）と前年同期を上回りました。また、主要事業の受注高増加により、引き続き高い稼働率を維持できたことで、原価率が前年同期並みに推移した結果、売上総利益は1,960百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

分野別の業績は次のとおりです。

(SI分野)

SI（システムインテグレーション）分野は、クレジットや金融、官公庁・自治体・公共企業、製造、通信、流通など幅広い業種を対象に、システムの設計、開発、運用・保守などにおいて、長年にわたり培ってきた技術やノウハウを活かした高品質なSIサービスを提供しております。当期の業績については、前年同期にクレジット向けにて大型案件の引渡があった反動により前年同期比28.4%減となった一方で、金融向けにて銀行業務システムの保守サービス等が好調に推移し前年同期比15.8%増となりました。また、官公庁・自治体・公共企業向けにおいても、引き続き行政の推進するデジタル化に関連した受注が拡大し、前年同期比7.5%増となった結果、売上高は7,072百万円（前年同期比1.8%増）、売上総利益は1,704百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

(DX分野)

DX（デジタルトランスフォーメーション）分野は、クラウド・生成AIなどの先端技術を利用したサービスの提供をはじめ、長年にわたり当社が強みとするデータ利活用のための支援サービスや基盤構築、自社開発システムなどの提供により、業務効率化や生産性向上など様々なお客様のDX化に貢献しております。当期の業績については、勤怠管理クラウドサービスなど、自社開発システム関連の販売が堅調に推移しました。また、データ利活用の需要拡大を背景としたクラウド関連サービスの受注が好調に推移した結果、売上高は1,151百万円（前年同期比5.1%増）となりました。一方で売上総利益については、クラウド関連サービスの事業拡大に向けた先行投資を行ったことで原価率が上昇し、255百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

		2025年3月期 中間期 累計期間	2026年3月期 中間期 累計期間	前年同期比 増減率
SI分野	売上高（百万円）	6,945	7,072	1.8%
	売上総利益（百万円）	1,665	1,704	2.4%
DX分野	売上高（百万円）	1,095	1,151	5.1%
	売上総利益（百万円）	261	255	△2.2%
合計	売上高（百万円）	8,040	8,223	2.3%
	売上総利益（百万円）	1,927	1,960	1.7%

その他の利益面では、人材の育成と確保に向けた取り組みの一環として積極的な賃上げや新卒・中途社員の採用費、教育施策の拡充など、人的資本への投資が前年同期比で増加したものの、増収に伴う増益が上回り、営業利益は881百万円（前年同期比1.8%増）、経常利益は914百万円（前年同期比1.7%増）となりました。また、保有資産の効率化及び財務体質の強化の一環として、投資有価証券の一部を売却したことによる投資有価証券売却益の計上により、親会社株主に帰属する中間純利益は665百万円（前年同期比14.1%増）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末の10,526百万円に対して1,267百万円減少し、9,258百万円となりました。これは主として、現金及び預金が222百万円増加した一方で、売掛金及び契約資産が1,587百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末の4,672百万円に対して1,425百万円減少し、3,247百万円となりました。これは主として、短期借入金が1,200百万円減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末の5,853百万円に対して157百万円増加し、6,011百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する中間純利益の計上による増加665百万円、その他有価証券評価差額金の増加69百万円と、剰余金の配当による減少465百万円、買付け等による自己株式の増加123百万円によるものです。

以上の結果、当中間連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の55.6%に対して9.3ポイント上昇し、64.9%となりました。

（キャッシュフローの状況）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ222百万円増加し、当中間連結会計期間末には2,906百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,953百万円（前年同期は789百万円の獲得）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前中間純利益991百万円、売上債権の減少額2,423百万円であり、支出の主な内訳は、契約資産の増加額835百万円、法人税等の支払額306百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は67百万円（前年同期は32百万円の使用）となりました。収入の主な内訳は、投資有価証券の売却による収入100百万円であり、支出の内訳は、有形固定資産の取得による支出18百万円、無形固定資産の取得による支出13百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1,798百万円（前年同期は1,634百万円の使用）となりました。支出の内訳は、短期借入金の純減額1,200百万円、配当金の支払額460百万円及び自己株式の取得による支出138百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点で2025年5月13日に「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,683,140	2,906,012
売掛金及び契約資産	5,309,185	3,721,297
その他	174,011	220,993
貸倒引当金	△5,290	△3,703
流動資産合計	8,161,046	6,844,599
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	399,003	407,110
減価償却累計額	△152,392	△161,316
建物及び構築物（純額）	246,610	245,794
工具、器具及び備品	346,494	353,357
減価償却累計額	△241,411	△234,378
工具、器具及び備品（純額）	105,082	118,979
リース資産	19,708	19,708
減価償却累計額	△15,485	△16,893
リース資産（純額）	4,223	2,815
土地	147	147
その他	1,500	1,500
減価償却累計額	△1,499	△1,499
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	356,064	367,736
無形固定資産		
のれん	124,711	99,769
その他	111,908	105,001
無形固定資産合計	236,620	204,771
投資その他の資産		
投資有価証券	1,255,126	1,337,647
その他	517,932	504,077
投資その他の資産合計	1,773,059	1,841,724
固定資産合計	2,365,744	2,414,232
資産合計	10,526,790	9,258,831

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	574,860	630,709
短期借入金	1,500,000	300,000
未払法人税等	332,136	339,981
賞与引当金	395,362	311,114
受注損失引当金	248	11,962
その他	898,460	637,381
流動負債合計	3,701,066	2,231,149
固定負債		
退職給付に係る負債	626,694	624,711
資産除去債務	199,122	199,819
その他	145,942	191,535
固定負債合計	971,759	1,016,065
負債合計	4,672,826	3,247,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	29,078	38,727
利益剰余金	5,811,532	6,011,327
自己株式	△1,723,868	△1,847,135
株主資本合計	5,116,741	5,202,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	738,653	808,100
退職給付に係る調整累計額	△1,430	595
その他の包括利益累計額合計	737,222	808,696
純資産合計	5,853,964	6,011,616
負債純資産合計	10,526,790	9,258,831

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	8,040,718	8,223,798
売上原価	6,113,597	6,263,087
売上総利益	1,927,121	1,960,710
販売費及び一般管理費	1,061,698	1,079,710
営業利益	865,423	881,000
営業外収益		
受取配当金	22,713	26,092
助成金収入	9,358	2,567
その他	3,101	8,173
営業外収益合計	35,173	36,832
営業外費用		
支払利息	1,716	3,412
支払手数料	165	255
営業外費用合計	1,881	3,668
経常利益	898,715	914,164
特別利益		
投資有価証券売却益	—	81,108
受取保険金	4,000	—
特別利益合計	4,000	81,108
特別損失		
固定資産売却損	28,916	—
固定資産除却損	577	3,660
特別損失合計	29,494	3,660
税金等調整前中間純利益	873,221	991,612
法人税、住民税及び事業税	281,378	313,281
法人税等調整額	8,790	13,077
法人税等合計	290,169	326,358
中間純利益	583,051	665,253
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	583,051	665,253

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	583,051	665,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,613	69,447
退職給付に係る調整額	533	2,026
その他の包括利益合計	45,147	71,474
中間包括利益	628,199	736,727
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	628,199	736,727
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	873,221	991,612
減価償却費	73,264	65,794
のれん償却額	24,942	24,942
株式報酬費用	12,909	12,775
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△461	△1,586
賞与引当金の増減額(△は減少)	△19,604	△84,247
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11,841	937
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△2,859	11,714
受取利息及び受取配当金	△22,880	△28,666
支払利息	1,716	3,412
有形固定資産売却損益(△は益)	28,916	—
固定資産除却損	577	3,660
契約資産の増減額(△は増加)	△1,291,545	△835,181
売上債権の増減額(△は増加)	1,757,887	2,423,300
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,860	△56
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,150	55,849
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△81,108
その他	△293,024	△329,109
小計	1,143,611	2,234,042
利息及び配当金の受取額	22,880	28,666
利息の支払額	△1,414	△2,802
法人税等の支払額	△375,483	△306,161
営業活動によるキャッシュ・フロー	789,594	1,953,745
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,936	△18,986
有形固定資産の売却による収入	2,772	—
投資有価証券の売却による収入	—	100,000
無形固定資産の取得による支出	△32,443	△13,216
敷金及び保証金の差入による支出	△30,219	—
敷金及び保証金の回収による収入	48,646	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,181	67,816
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,015,000	△1,200,000
配当金の支払額	△395,503	△460,324
自己株式の取得による支出	△223,896	△138,365
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,634,400	△1,798,689
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△876,987	222,872
現金及び現金同等物の期首残高	2,339,462	2,683,140
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,462,475	2,906,012

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式133,300株の取得を行いました。また、2025年7月23日開催の取締役会決議に基づき、2025年8月15日付で、譲渡制限付株式報酬として自己株式24,600株の処分を実施しました。これらの結果、当中間連結会計期間において、資本剰余金が9,649千円、自己株式が123,267千円増加し、当中間連結会計期間末において資本剰余金が38,727千円、自己株式が1,847,135千円となっております。